



岡山旭東病院  
マスコットキャラクター  
「モモコ」

# 健康 讃歌

by 岡山旭東病院

## ICT (院内感染対策チーム)の ひたむきな活動が患者さまの安全を守る。

一九八〇年代、日本で初めて患者さんが抗生物質の効きにくいMRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)に感染するという事故が報道されました。これがきっかけとなって「院内感染」という言葉が広く知られるようになりました。当院では一九九二年に「院内感染対策委員会」を立ち上げ、現在はICT(院内感染対策チーム)として総勢約二五人のスタッフが二四時間体制で感染防止に努めています」と語るのは菅田看護師。現在、ICT委員長兼

看護師。現在、ICT委員長兼ICN(感染管理認定看護師)として日々、業務にあたっている。  
ここでICTの活動を簡単に紹介するとその活動領域は、感染対策のマニュアル作りから改訂、全スタッフへの教育と実践、サポートなど、多岐にわたっている。



長尾看護師



菅田看護師

ICT立ち上げから参加している長尾看護師曰く「当院では、抗生物質を極力使用しません。抗生物質の使用が薬剤耐性菌による自家感染を助長する面があるからです。ちなみに風邪などで抗生物質を服用することは慎むべき。風邪のほとんどはウィルス性ですから、抗生物質は効きません。服用すれば、風邪の治療に役立たないばかりか、薬剤耐性菌を定着させるだけです」。

岡山旭東病院では通常なら手術後三〜七日間、抗生物質を使うところを原則的に二日しか使用しないという。もちろん手術中に万全の予防措置をするため感染の心配はない。「二〇〇七年四月には感染管理のスペシャリストを育成するコースを開設しました。これからも日々レベルアップをめざします」。ICTのひたむきな取り組みが患者さまの安心と安全を支えている。

◆お問合せ／岡山旭東病院 ☎〇八六・二七六・三二二三  
<http://www.kyokuto.or.jp>

掲載中のイベントは終了しました

### 岡山旭東病院 ICT (院内感染対策チーム)

ICTは、インフェクションコントロールドクター(ICD)をはじめ、感染管理看護師(ICN)、薬剤師、検査技師、歯科衛生士、放射線技師など、各分野のエキスパートによって構成されている。具体的には、外来患者や入院患者に感染症の疑いが確認された場合、各部署や病棟に素早く情報が伝わり、感染を未然に阻止する体制が整えられている。「治療に来た患者さまに新たに病気を与えてはならない」。それがチーム全員が抱く思いだ。

- ◆病院見学ツアー  
1/23(金)13時~15時半
- ◆国営教室  
2/7(土)14時~15時半
- ◆旭東地域実務者ネットワーク  
市民公開講座  
2/21(土)14時~16時半
- ◆病院見学ツアー  
2/27(金)13時~15時半
- ◆パーキンソン病健康教室  
3/14(土)14時~16時

※どなたでもご参加いただけます。事前にお申込みをお願いします。  
いずれも参加無料です。お申込みは 企画課 ☎086-276-3231

パッチ・アダムスホール  
(院内1階多目的ホール)  
イベント案内

